

情熱通信



2022.9月号

明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <https://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



！文章力を鍛えよう！

入試では、小論文や作文・記述形式の問題が出題されることがあります。文章を書く力は、ある程度きたえて身につけることができます。ぜひ、文章を書く練習をしてみましょう。

少しでも文を書こう！

日記を書くことを毎日の習慣にするのは、少し難しく感じる人がいるかもしれません。そんなときは、

- ①身のまわりの出来事や見聞きしたニュースで印象に残ったものを選ぶ
- ②①の要点と、感想や思ったことをまとめるということを、1週間に1度のペースで取り組んでみてはいかがでしょうか。2～3文でいいので、一定のペースで書いてみるようにしてください。



入試や定期テストでは、「自分の意見を、理由を添えて書く」出題もよくあります。時事問題のチェックも兼ねて、試してみてください。日記帳を用意しなくても、スマートフォンの日記アプリや、自分の持っている予定帳への書きこみでも構いません。自分にとって、楽にできる方法でやってみましょう。

読書感想文を書こう！

読書感想文は、通っている学校からの課題で出されることが多いですが、「本を読むきっかけづくり」と「長い文章を書く訓練」になるよい機会です。また、原稿用紙の使い方を確認することもできます。文章量としては、次のような字数を指定されることが多いようです。

参考にどの程度必要か書いておきます。

- ・小学校低学年 800字程度
- ・小学校中学年 1200字程度
- ・小学校高学年 1200字程度
- ・中学校 2000字程度
- ・高等学校 2000字程度

9月スケジュール

- 9月 3日 (土) 日本漢字能力検定
- 9月14日 (水) 中3学力総合A
- 9月17日 (土) 秋期特訓ゼミ初回実施日 (中3のみ)
- 9月19日 (月) 敬老の日ですが授業あり
- 9月30日 (金) 23日分の振替授業あり

↓過去の情熱通信はこちらから！



<https://www.946jp.com/meiko/newsletter.html>

願望達成の「かきくけこ」

情熱通信のこのコラムに、最近朝倉千恵子さんの言葉をお借りしてばかりですが、今月もお借りさせていただきます。(朝倉先生、いつもありがとうございます)

【願望達成をする！かきくけこ】

か→紙に書く き→希望を持って期待する
く→口に出す け→継続する(あきらめない)
こ→行動する

個人的に重要だと思うのは「か」と「く」。目標を設定しても、2週間程度で忘れてしまう人が大半です。紙に書き出し、可視化し、いつでも目に入るようにすることによって「き」が可能になります。そして、本気で応援してくれる人(だけ)に口に出す。あとは実践、実践、実践、実践、行動です。前の3つがあるから、残りの2つが可能になるのだと思います。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

敬老の日

9月と言えば長月ですね。日増しに夜が長くなるので夜長月=それが長月になったと言われています。

9月の行事として大切なのは「敬老の日」です。多年にわたり社会につくしてきた老人(私も含む)を敬愛し、長寿を祝う日です。元々は1954年に「としよりの日」という名前で制定されました。でも、この名前はちょっとひどいですよね。やはりそういう声が上がったらしく、1964年に「敬老の日」に改められ、2003年からはハッピーマンデーの一環で9月の第3月曜日になりました。9月筆頭の記念日が秋分の日でしょう。この秋分の日は9月22日から9月23日のいずれかが該当することが多く、昼と夜の長さが等しくなる日です。(太陽が真東から出て真西に沈むから。)昼と夜の長さがこの日を境目に入れ替わっていきます。

釧路春採SC教室 安田 光則 TEL 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

その問題、本当に難しい？

授業中、長文が出てくる問題に対して動かない生徒をまれに見ます。頭の中で整理していると答えてくれる生徒もいるのですが、何を聞かれているか、どの知識を使えばいいか、整理できている生徒はあまりいません。

そんな時、大事なポイント(聞かれている内容やそのヒントになる部分)に、線を引いたりマークをつけてもらったり図を書いてもらったりすると、あっという間に筆が進み、問題が解けることもしばしばあります。文章を読むことが中心になる国語や英語の長文問題は、指示語が示している内容や同じことを言っている部分がわかるように印などをつけていくと、読みやすくなります。

頭の中だけでできることには限界があります。わかっていることを自分にわかりやすく文字などにして整理していくと、意外と簡単かもしれませんよ？

当別教室 平山 由香利 TEL 0133-23-2228
〒061-0233 石狩郡当別町白樺町163-38 1F

NFT

このところweb3.0だなんだとコラムに書いておりますが、正直なところ私自身もほとんど分かっておりません。分からないなりにいろいろ調べたり関連するものを読んだりしてきた訳ですが、中でも頭を悩ませていたのが「NFT(Non-Fungible Token)」つまり代替不可能なトークンなるものです。そもそもトークンとは「暗号資産」や「仮想通貨」のことですが(BTCとETHは除外されるようです)、NFTは唯一無二で、改ざんが不可能といった特性を付与された暗号資産を意味するようです。例えば、デジタルアートやファッション、会員権などなど、更に新たなNFTを開発しビジネスとして発展させる取り組みが随所で始まっています。全てはブロックチェーンの発展から派生した技術でありその可能性が無限だということだけは理解出来ました。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

学力に関する統計

親の収入が子供の学力に影響するという話は有名ですが、これをさらに詳しく調べた統計があります。そこで判明したのが『直接的な原因は収入ではなく、家にある本の冊数だった』というものです。収入の多い世帯は家にある本の冊数も多い傾向にあり、それが子供の成績に影響を与えたのではないかと考えられています。子供の時分を思い出してみると、小学生のころから本を積極的に読んでいた同級生というのは、おおむね成績がよかったように思います。言葉を読みイメージするという行為は人間の思考の根幹をなすものです。それを小さいころから他よりも先じて実践していた人が、学力が高いというのは、考えてみれば至極当然のように思われます。読んでくれるかは分からないけれど、ひとまず家に置いてみる、というのも良いかもしれません。

中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900
〒086-1007 標津郡中標津町東七条南7-8 2F

改憲・護憲論議それ以前に

改憲派に護憲派。改憲・護憲議論は大いに結構なことだと思います。しかしながら私、こう思うのです。日本国憲法第9条。「改憲派にせよ護憲派にせよ、その条文を誦(そら)んじて言えないなどとは何ごとか!」「笑わせるな!」と。ええ、元社会科講師なものですから、大人には厳しいのです(笑)。心情的に賛成・反対。それもありませんが、大人の社会ではその根拠を示すことが不可欠なはず。実はこの部分、中学3年生の公民の授業において【そこそこ理論的に学習する部分】でもあります。塾生のみなさんには、一人ひとり、自分なりの考えを持ってほしい。終戦記念の日に、ふとそんなことを思った次第であります。そのためには、覚えるべきは覚えることからですね。覚えることをめんどくさがってはいけませんよ。

株式会社 情熱空間
代表取締役 三木 克敏